

「みかんのやくそく」というタイトルには、まだ完成していないもの、これから誰かに手渡されていくもの、そして参加のたびに少しずつかたちを変えていくものを通して、約束を見つめ直そうとする思いが込められています。それは、コンピュータをはじめとするメディア・テクノロジーが本来約束していたはずの「誰かがつくり、考え、とらえ返すことのできる環境」への問いでもあります。

本展では、生成AIを含む今日のメディア・テクノロジー環境を、子どもたちの多様な実践を通してとらえ直します。テクノロジーを単なる

道具ではなく、ときに応答し、予想外の結果を返す関係性としてとらえることで、「誰がつくるのか」「表現はどこから生まれるのか」という根源的な問いを、あらためて現在にひらいていきます。

本展がひらく問いは、つくる体験のなかだけにとどまるものではありません。子どもたちの実践や来場者の経験は記録として蓄積され、未来へと接続されていきます。展示空間は完成した作品を並べる場所ではなく、人々の関与によって変化し続ける、まさに「メディア・クリエイションズ」の現場となるのです。

展示予定作品

*全て新作

①



AIといっしょに想像しながら作るってどんな体験?

作られている作品なんだって。

うきうきのうき



どんな動きかな?

③

これは楽器なの?



どうやって音をならすのだろう?

④

光のエリアに入り、



撮影:本奥恵三

声を聞き、動きながら、探索してみよう!

⑤

ヴァーチャル空間に



みかんを作るってどうするの?

【企画、総合ディレクション】赤羽 亨 | 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授、glow主宰

インタラクション・デザインの表現可能性、および記録と共有について探究している。近年は場所と音の関係に向き合い、聴覚と空間をインタラクション・デザインの新たなフィールドとして研究を行なっている。主な研究に「サウンドスケープ・オーバーレイによる展示空間と芸術体験の拡張」など。



【関連イベント】

会期中には、子どもたちの「もっとよく知りたい」に応えるためのワークショップなどの各種イベントやメディア・アートの表現や技術的側面に関心を持つ大人のためのトーク・イベントも実施予定です。

ギャラリーツアー

開催日時: 2026年8月1日(土)午後2時~3時
定員: 20名(当日先着順、ICCでは午後1時30分より受付を開始します。)
対象: 小学生以上
共催: 新宿区立角筈図書館

【同時開催の展覧会】

ICC アニュアル 2026 遺す／残る／受けとめる

出品作家: ウー・チーユウ、キム・ヨンウン、小林 椋、SUGAI KEN、すずえり+比嘉了、葉山嶺、ローサ・メンクマン、森永泰弘、宮下 恵太(エマージェンシーズ! 048)、杉田 碧(エマージェンシーズ! 049)

会期: 2026年6月20日(土)~11月8日(日)

会場: NTTインターコミュニケーション・センター [ICC] ギャラリーB

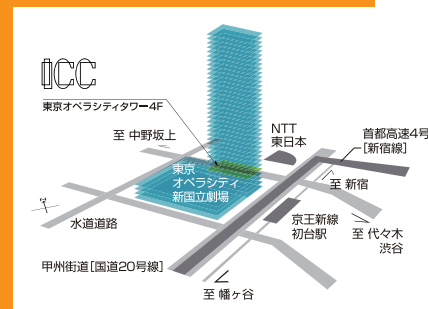
入場料: 一般800円(700円)、大学生600円(500円)

年間パスポート: 2,000円

* ()内は15名様以上の団体料金

* ご入場は事前予約をされた方を優先させていただきます。

* 障害者手帳をお持ちの方および付添1名、65歳以上の方と高校生以下の方、ぐるっとパスをお持ちの方は無料(受付にて身分証明書をご提示ください。)



NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]

〒163-1404 東京都新宿区西新宿3-20-2

東京オペラシティタワー4階

アクセス: 京王新線初台駅東口から徒歩2分(都営新宿線直通)

お問い合わせ: ☎ 0120-144199

URL: <https://www.ntticc.or.jp/>

※諸事情により開館時間の変更及び休館の可能性がございます。最新情報はホームページなどでお知らせいたします。

Design:
STUDIO PT.
Illustration:
NIWA Ayano (glow)



INTERCOMMUNICATION CENTER